

Marubeni



2019年4月16日

丸紅株式会社

中部電力株式会社

伊那市

長野県伊那市における地域密着型ビジネスの開発について

丸紅株式会社（代表取締役社長：柿木 真澄、以下「丸紅」）、中部電力株式会社（代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）、伊那市（市長：白鳥 孝）は、本日、丸紅伊那みらいでんき株式会社（代表取締役社長：伊藤 直樹、以下、「伊那みらいでんき」）を通じて、長野県伊那市を中心に、地域密着型ビジネスを共同で開発することに合意しました。

このたび、中部電力および伊那市は、伊那みらいでんきに出資することとし、本日、丸紅を含めた3者で出資に関する株主間協定を締結しました。今後、共同でエネルギーの地産地消および低炭素社会の実現を目指すとともに、人口減少や、産業・農業の活性化といった地域特有の社会課題の解決に取り組んでまいります。

具体的には、地域の再生可能エネルギーを活用した多様な電力メニューの開発や、伊那地域の一次産業のデジタル化、六次産業化に資する新たなサービス、生活関連サービスを開発すること等により、持続的な地域の発展に貢献することを目指します。

なお、2019年5月以降、伊那みらいでんきにおいて、伊那市の市有施設への電力供給を順次開始します。

丸紅は、伊那市に小水力発電所を有する100%子会社、三峰川電力株式会社を通じて、2000年より、伊那市で安全かつ環境に優しい電力を発電し、街づくりに協力してきました。今後も、伊那みらいでんきを通じて、更なる地域活性化に貢献してまいります。

中部電力は、さまざまな社会課題を解決するために、「新しいコミュニティの形」の提供に取り組んでおります。今後、3者のノウハウを活用しながら、持続的な地域の発展に資する新たなサービスの開発を進めてまいります。

伊那市は、市域に由来する伊那みらいでんきの電力を通じて、二酸化炭素の排出抑制とエネルギー等の地域内循環を進めるとともに、地域の様々な課題解決に向け、3者で新たなサービスの実現に取り組んでまいります。

■調印式の様子



(左から、伊那市長 白鳥 孝、中部電力 執行役員 大谷 真哉、丸紅 執行役員 横田 善明、丸紅伊那みらいでんき 代表取締役 伊藤 直樹)

■事業者概要

丸紅伊那みらいでんき株式会社

代表者	代表取締役社長 伊藤 直樹
本社所在地	長野県伊那市長谷黒河内 2895 ※4 月中を目途に移転予定 (長野県伊那市荒井 3495 番 7)
資本金	50 百万円 (資本準備金を含む)
出資比率※	丸紅 56%、中部電力 34%、伊那市 10%
設立	2018 年 6 月 20 日
事業内容	電力小売供給、生活関連サービスの開発

※中部電力、伊那市による出資完了後の比率

丸紅株式会社

代表者	代表取締役社長 柿木 真澄
本社所在地	東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号 東京日本橋タワー
資本金	262,686 百万円
設立	1949 年 12 月 1 日
事業内容	国内外のネットワークを通じて、食料、生活産業、素材、エネルギー・金属、電力・プラント、輸送機その他の広範な分野において、輸出入 (外国間取引を含む) 及び国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動を多角的に展開しております。

中部電力株式会社

代表者	代表取締役社長 勝野 哲
本社所在地	名古屋市東区東新町1番地
資本金	430,777 百万円
設立	1951 年 5 月 1 日
事業内容	電気事業およびその附帯事業、ガス供給事業、蓄熱受託事業、分散型エネルギー事業、海外コンサルティング・投資事業、不動産管理事業、IT 事業など

伊那市

市長	白鳥 孝 (3 期 1 年目)
市の姿	南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる美しい里山と雄大で豊かな自然は、四季折々に彩りを変え、人々の暮らしに潤いと安らぎをもたらします。 第 2 次伊那市総合計画の基本目標である“未来を織りなす 創造と循環のまち”の実現に向け、創造を繰り返しながら自立的な循環が連鎖するまちづくりを進め、暮らしやすく平和で希望に満ちた輝かしい未来を目指しています。
人口	68,020 人 (2019 年 4 月 1 日現在)

以 上